

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク

来賓挨拶



国土交通大臣政務官 岡田 直樹

ただいまご紹介をいただきました国土交通省の政務官をさせていただきますこの石川県の参議院議員でございます岡田直樹でございます。

本日は、日本海にぎわい・交流海道ネットワーク、すばらしい講演会が開催されましたことを心からお喜びを申し上げ、皆様に敬意と感謝を一言申し上げたいと思って駆けつけてまいりました。

とりわけこの講演会が、あれは2年余り前、平成19年3月25日だったと思いますが、この能登半島を襲った大地震。あの傷跡をいまだ癒えざる能登半島。そして、一番大きな被害を受けました輪島において開かれること。そして、その復興の象徴ともいべきマリントウンの土音もこれから響いてまいります。輪島において開催されますことを誠に意義深いことと思って喜んでいる次第でございます。

我々、この日本海の地域というのは、かつて裏日本というような呼び方をされたこともありますけれども、私は決してそうは思っていないわけであります。日本地図を見ますと、大抵日本海のほうが太平洋側より上に書いてありますから、私は裏日本ではなくて上日本と、いつもこんなふうと呼んでいるわけであります。事実、かつての北前船の時代、この日本海側というのは太平洋側に負けず劣らず豊かな海の交流の地域でございました。そして、もっともっと古代にさかのぼれば、これは本当に表日本と称してもいいぐらい、大陸や半島との交流のにぎやかな地域であったわけであります。

我々はそうした歴史も踏まえて、これからこの地域が、日本海の港、港がお互いに絆を固くいたしまして、ともに繁栄をしていく。そのための今日はいいいきっかけになったんだと思います。

また、クルーズというのは私ども国土交通省も中に観光庁という役所もございまして、観光立国日本、この大きな目標のために力を入れているところでございまして、今日充実した講演、またパネルディスカッションが展開されましたことを大変喜んでおりますし、先ほどは梶市長が盛んに小出さんにプレッシャーといいますか、攻勢をかけておりました。梶市長の思いが実って客船がこの輪島港に入りますこと、そして輪島のみならず能登一円を観光客の方々がお越しになることを心から願ってお

ります。

重ねまして、今日こうしてたくさんの市民の皆様ご参加をいただき、充実した講演会、パネルディスカッションが開催されましたことを心から感謝を申し上げます、甚だ簡単ではございますけれども一言ご祝辞、そして御礼の言葉とさせていただきます。

本日はまことにありがとうございます。